

全科協 第31回研究発表大会 発表募集要項

主 催 : 全国科学博物館協議会、滋賀県立琵琶湖博物館、一般財団法人全国科学博物館
振興財団

大会日時 : 令和6年2月22日(木) 10時00分～16時15分頃まで
(予定、途中昼休憩あり)
※前日は、全科協の理事会・総会等を予定

会 場 : 滋賀県立琵琶湖博物館
※ 今後の社会情勢によっては、オンライン等による開催に変更する可能性があります。

テ ー マ : コミュニティとともに活動する博物館

大会趣旨 : 2022年ICOM(国際博物館会議)プラハ大会において博物館の定義の改正が行われました。「博物館は、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈、展示する、社会のための非営利の常設機関である。博物館は一般に公開され、誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、コミュニティの参加とともに博物館は活動し、教育、楽しみ、省察と知識共有のための様々な経験を提供する。」(ICOM日本委員会による日本語確定訳文)

この中にある、「誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、コミュニティの参加とともに博物館は活動し、」は、今回の改正で加わった文言です。

このような価値観が国際的にも共有される一方で、私たち科学博物館が行う具体的な博物館活動は、コロナ禍をはじめ時代とともに変化する人々のニーズ、社会的要請に応じていくことが必要です。

これを受けて、前回の研究発表大会では、「誰もが利用できる包摂的な科学博物館～人々のニーズや社会の要請に応える」をテーマとしました。

今回の研究発表大会では、「コミュニティとともに活動する博物館」をテーマに、ボランティア活動などを通じた博物館活動への市民参

加、地域の自然や歴史に対する市民の探究活動との協働や支援、地域の子どもなどの若年層に向けた教育普及活動、地域の自然環境と人々の生活の関わりを実感する活動などの発表を募集します。各館の研究や活動事例を幅広くご報告いただきながら議論する機会としたいと考えます。

できるだけ多くの方に発表いただけるような大会運営を予定しておりますので、是非この機会に多くの皆さまにご参加いただき、有意義な意見交換ができる場になればと考えております。

1. 募集内容：

■発表内容

加盟館園の事業運営に参考となる事例や研究

- (1) ボランティア活動などを通じた博物館活動への市民参加
- (2) 地域の自然や歴史に対する市民の探究活動との協働、支援
- (3) 地域の子どもなどの若年層に向けた教育普及活動
- (4) 地域の自然環境と人々の生活の関わりを認識する取り組み

等

(1) 口頭発表

□発表時間

15分程度を予定

※応募の状況によって、発表時間や形式を変更する場合があります。

□発表者の条件

全科協加盟館園の職員で、12月中旬に予稿を提出いただける方

※大会出席にかかる旅費は所属館もしくはご自身でご負担願います。

※口頭発表希望者で参加旅費の支弁が困難な方に対する助成事業を設けましたので、別添をご覧ください。

(2) ポスター発表

□発表時間

ポスター掲示は2月21日(水)～2月22日(木)16時15分頃迄

※掲示場所での口頭説明：2月22日(木)12:30～13:30 予定(コアタイム)

□発表者の条件

全科協加盟館園の職員

※大会出席にかかる旅費は所属館もしくはご自身でご負担願います。

※ポスター発表希望者で参加旅費の支弁が困難な方に対する助成事業を設けましたので、別添をご覧ください。

※発表者には次年度の全科協ニュースで発表内容を報告頂く予定です。

2. 応募方法：

別添の応募用紙をメール添付にてご応募ください。

※紛失等の可能性回避のため、なるべく FAX ではなくメールでの送付を推奨いたします。

※用紙のデジタルデータは全科協ホームページからダウンロードいただけます。

<全科協ホームページ> <https://jcsn.jp/>

■応募先 全国科学博物館協議会 事務局

■締め切り 11月7日(火) ※当日必着

3. 結果の通知等： 11月16日(木)頃までに、応募結果をお知らせします。

4. 問い合わせ先： 全国科学博物館協議会 事務局 担当：中山、河田、堤

TEL 03-5814-9863 FAX 03-5814-9899

Eメール info@jcsn.jp

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

国立科学博物館

科学系博物館イノベーションセンター

展示開発・博物館連携グループ内